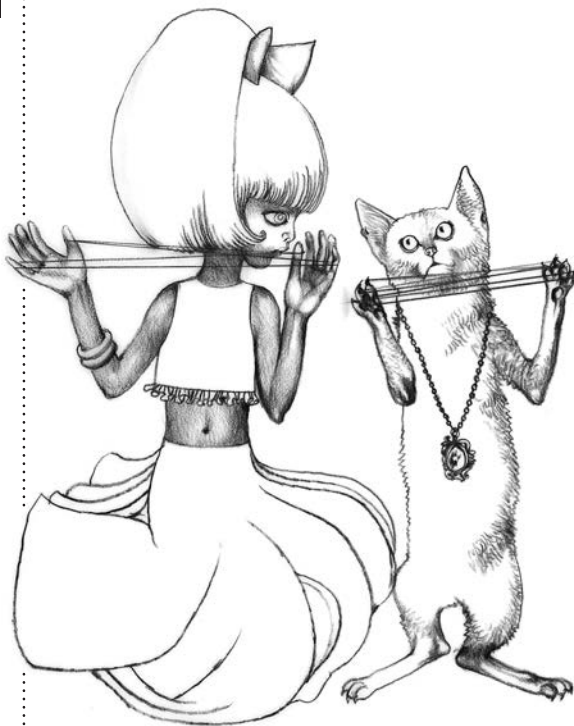


絵本とアート

—絵本のつくり手たち、その創造力

宇野亜喜良「母の友」(1964年)表紙原画 1964年 刈谷市美術館蔵



大会1日目 5月31日[土]

12:00—(受付開始)—

12:40—

開会式/会場:小ホール

13:00—

宇野亜喜良トーク/会場:小ホール

「メタモルフォーゼするイラストレーション」
& ライブ・ペインティング

講師:宇野亜喜良(イラストレーター)

進行:松本育子(刈谷市美術館)

15:00—(休憩)—

15:15—

宇野亜喜良サイン会/会場:小ホール

*サインは、会場内販売物に限らせていただきます。

15:30—

研究発表

会場:4階(401研修室・402研修室)、
5階(501講座室・502講座室・503講座室)

17:00—

絵本学会2014年度総会(絵本学会会員のみ)

18:00—

交流会

会場:刈谷市産業振興センター401会議室
(刈谷駅北口)

会費:5,000円

大会2日目 6月1日[日]

09:30—(受付開始)—

10:00—

研究発表

会場:4階(401研修室・402研修室)、
5階(501講座室・502講座室・503講座室)

12:00—(休憩)—

13:00—

作品発表/会場:展示ギャラリー

15:00—

ラウンドテーブル(分科会)

R1「瀬川康男の絵本表現」

話題提供者:松本育子(刈谷市美術館)

辻村益朗(絵本作家)

川崎康男(福音館書店編集者)

コーディネーター:広松由希子(絵本研究家)

R2「レオ・レオニ 絵本のしごと」

話題提供者:佐々木丈夫(公文教育研究会研究職・白百合女子
大学、生涯発達研究教育センター特別研究員)

今井良朗(武蔵野美術大学)

コーディネーター:藤本朝巳(フェリス学院大学)

R3「子どもと絵本をよみあう

—かがくいひろしの絵本の場合—」

話題提供者:廣田真智子・西脇由利子(絵本研究家)

水島尚喜(聖心女子大学)

コーディネーター:鈴木穂波(岡崎女子短期大学)

17:10—

閉会式/会場:小ホール

●展示ギャラリー

大会期間中、刈谷市美術館コレクションにより、
宇野亜喜良、瀬川康男の絵本原画を展示します。

2014年5月31日[土]、6月1日[日]

会場:刈谷市総合文化センター

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2丁目104番地

参加費:会員1,000円、一般2,000円(2日通し券、1日の場合は1,500円) 大学生以下は無料
*一般の方は当日受付(定員制限のため入場をお断りする場合があります/先着順)

主催:絵本学会・刈谷市美術館 共催:刈谷市総合文化センター(指定管理者:KCSN共同事業体)

●問い合わせ先

[第17回絵本学会大会事務局] 刈谷市美術館 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
TEL:0566-23-1636 FAX:0566-26-0511 E-MAIL: bijyutsu@city.kariya.lg.jp

●絵本学会会員の参加費振込先

5月16日(金)までに郵便振替にて下記の口座にお支払ください。

口座番号:00820-5-183750

加入者名:第17回絵本学会大会実行委員会

*参加証は当日お渡しいたしますので、「振込受領書」を当日受付にてご提示ください。

*参加費と一緒に、通信欄の所定の欄にチェックの上、交流会に参加される方は交流会参加費の費用も合わせてお振込みください。

*本大会では、会場周辺に飲食店やスーパー、コンビニがありますので、お弁当の手配はいたしません。
参加者各自でご対応いただきますようお願いいたします。なお、スーパーやコンビニ等でお買い求めになったお弁当は、会場4階の研修室でお召し上がりいただけます。

*本大会に関して、会場(刈谷市総合文化センター)への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

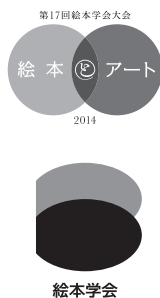
●会場への交通案内

【電車】JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分

*「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分

【車】伊勢湾岸自動車道豊明ICより約20分・豊田南ICより約25分

*総合文化センター駐車場は、パロー(みなくる刈谷)駐車場とは異なりますのでご注意ください。



研究発表

5月31日[土] 15:30-17:00

A室	赤羽 尚美 (フェリス学院大学大学院生・臨床心理士)	子育て期の絵本—大人にとっての絵本と役割—
	神戸 洋子 (帝京科学大学)	ドン&オードリー・ウッズの作品に見る家族の日常と非日常
	柴田 房雄 (立正大学)	保育者養成課程に学ぶ学生の絵本の選書意識に関する考察 —「絵本ノート (お薦めの絵本100冊)」の分析を通して—
B室	田村 敏広 (静岡大学)	絵本における文体シフト～長新太『みみずのオッサン』を例に～
	正置 友子 (絵本学研究所 主宰)	キーピングの『まどのむこう』を見る —「まなざし」は、外に注がれると同時に内にも注がれる—
	鈴木 律子 (白百合女子大学大学院生)	絵本の中に描かれる〈庭〉の役割—『ウエズレーの国』を題材として—

6月1日[日] 10:00-12:00

A室	中山 由紀子 (梅花女子大学研究生)	絵本の構造を意識した絵本作り—Suzy Leeの境界絵本三部作から—
	杉山 喜美恵 (東海学院大学短期大学部)	絵本の「画面回転」という手法に関する考察
	陶山 恵 (東京工芸大学)	加藤久仁生の絵本とアニメーション
	浅野 法子 (梅花女子大学ほか)	中国の民話「長髪妹 (チャンファメイ)」のイメージの変遷
B室	細川 七重 (絵本学研究所 研究員)	米国教育使節団からの「本の贈り物」(Gift of Books)のなかの絵本Ⅲ —日本語訳されてない本—
	永田 桂子 (京都女子大学大学院)	絵本研究の新たな広がりへの一視点 —『チャイルドブック』裏表紙の「一頁完結・コマ割絵物語」(仮称)を取り上げて—
	棚橋 美代子	戦前の「キンダーブック」にみる西崎大太郎の役割
	浜崎 由紀 (京都女子大学)	戦前の「ヌリエ」に関する一考察—フレーベル館発行の作品を中心に—

作品発表

展示ギャラリー

6月1日[日] 13:00-15:00※

岡崎 有里 (尚綱学院大学)	『あか・きいろ・みどり』
山崎 三英子 (兵庫県立伊丹西高校・尼崎工業高校)	『ムルテンちゃん』
あわや まり (ひらく堂・詩人) / からさき まい (ひらく堂・イラストレーター)	『まんぶくスーパーマーケット』
加賀美 裕子 (東京展「絵本の部屋」代表)	『いとをかし』
宮崎 詞美 (横浜美術大学)	『Dacha』
染谷 照代	『しろいポストとカラス』
梶浦 恭子 (岐阜女子大学)	『人と人がつながるあそび かんたん手づくりえほん』
ベップ ヒロミ (貞静学園短期大学)	『ぼくのハート』(ユニバーサルデザイン絵本)
正木 賢一 (東京学芸大学)	『スーアの森の魔術師』
池田 美穂 (岡山県立大学大学院生)	『ひとびと』
吉田 久実 (白梅学園大学・短期大学)	『めがねさん』

※ 作者による作品解説の後、時間内で懇談会(フリーディスカッション)を行います。大会開催期間中、展示はご自由にご覧いただけます。